

製品安全データシート

環境除菌・洗浄剤 ルビスタ® パウダー5g

版 2.1

改訂日 2016/03/07

整理番号 130000031324

このSDSは、日本の法規制、JISZ7253:2012に準拠して作成されたものであり、日本以外の国の規制を満たすものではありません。

1. 化学物質等及び会社情報

製品名 : 環境除菌・洗浄剤 ルビスタ® パウダー5g

会社名 : キョーリン メディカルサプライ株式会社

住所 : 東京都千代田区神田司町二丁目2番11号 新倉ビル6F

担当部門 : 環境衛生事業部

電話番号 : 03-6327-5977

FAX番号 : 03-5289-7482

緊急連絡先 : 03-6327-5973

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 除菌剤

整理番号 : 130000031324

2. 危険有害性の要約

GHS-分類

| | |
|-----------------|-----|
| 皮膚刺激性 | 区分2 |
| 眼に対する重大な損傷性／刺激性 | 区分1 |
| 水生環境有害性(急性) | 区分2 |

記載がないものは、分類できない、分類対象外または区分外。

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 皮膚刺激。
重篤な眼の損傷。
水生生物に毒性。

- 注意書き
- : 取り扱い後は皮膚をよく洗う。
 - 環境への放出を避けること。
 - 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
 - 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
 - 皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹼で洗うこと。
 - 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 - 直ちに医師に連絡すること。
 - 特別な処置が必要である(この安全データシートの応急措置の指示を参照)。
 - 皮膚刺激が生じた場合には、医師の診断/手当てを受けること。
 - 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
 - 内容物/容器は、承認された廃棄物処理設備で処分する。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分及び含有量

| 化学名 | CAS番号 | 含有量 | 官報公示整理番号(化審法・安衛法) |
|---------------------------------|------------|-----------|-------------------|
| ペルオキシ硫酸・硫酸・五カリウム塩 | 70693-62-8 | 40 - 55 % | (1)-454&(1)-456 |
| ベンゼンスルホン酸、C10-13-アルキル誘導体、ナトリウム塩 | 68411-30-3 | 11 % | (3)-1906 |
| リンゴ酸 | 6915-15-7 | 7 - 10% | (2)-1442 |
| スルファミド酸、スルファミン酸 | 5329-14-6 | 4 - 6 % | (1)-402 |
| トルエンスルホン酸ナトリウム | 12068-03-0 | 1 - 5 % | (3)-1883 |
| ペルオキシ二硫酸カリウム | 7727-21-1 | 2.5 % | (1)-456 |

4. 応急措置

一般的アドバイス

意識のない人には、絶対に、口から何も与えてはいけない。症状が長引く場合、または疑問がある場合は、医師の指示を受ける。

- 吸入した場合 : 被災者を、汚染域から運び出し、横にならせる。被災者の呼吸が停止している場合、人工呼吸あるいは酸素吸入、場合によってはその両方が必要になることがある。医師に相談する。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣服及び靴を脱がせる。直ちに多量の水で洗い流す。汚染された衣服は、洗濯した後に再使用する。医師に相談する。
- 眼に入った場合 : 直ちに、最低15分間はまぶたの内側も含め十分な量の水でゆすぐ。直ちに医師を呼ぶ。
- 飲み込んだ場合 : 無理に吐かせないこと。仰むけの体位で吐く場合には、回復体位を取らせる。意識があれば、コップ1-2杯の水を飲ませる。意識のない人には、絶対に、口から何も与えてはいけない。直ちに医師を呼ぶ。

急性症状及び遅発性症状の
最も重要な徴候 : 情報なし

応急措置をする者の保護 : 情報なし

医師に対する特別な注意事項 : 情報なし

5. 火災時の措置

消火剤 : 製品自体は燃焼しない。現地の状況と周囲環境に応じて適切な消火手段を使う。

使ってはならない消火剤 : 二酸化炭素 (CO₂)

火災時の特有の危険有害性 : 火災時には消火用水が排水溝ないし水路に流出しないよう防止すること。

危険有害な分解生成物(セクション10を参照)
酸素、塩素、酸化硫黄種、二酸化硫黄、次亜塩素酸

消火を行う者の保護 : 自給式呼吸装置と保護服を着用する。

特有の消火方法 : 情報なし

特有の対策 : 製品自体は燃焼しない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置 : 安全な場所に避難させる。保護具を使用する。

環境に対する注意事項 : 表流水に流さない。

封じ込め及び浄化の方法・
機材 : 掃いてからシャベルを使って適切な容器に入れ、処分する。
粉塵の発生を避ける。湿気を避ける。洗浄後は、水で痕跡を洗い流す。

補足事項 : 現地の規定に従い、処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 閉所での粉塵の発生を避ける。霧状のミストを吸い込まない。十分に換気する。皮膚や眼への接触を避ける。個人用保護具については、安全データシートのセクション8を見る。

局所排気・全体換気 : 情報なし

安全取扱い注意事項 : 情報なし

版 2.1

改訂日 2016/03/07

整理番号 130000031324

衛生対策

- : 休憩前や製品取り扱い直後には手を洗う。
装置、作業エリアは通常通り洗浄し、衣服も通常通りに洗浄する。

保管

適切な保管条件

- : コンタミネーションを避ける。
乾燥した、涼しい場所で保管する。納品時の包装形態(アルミスティック包装)でのみ保管する。

保管期間

- : 一般的な保管に関するアドバイス: 次のものから遠ざけること: 可燃性物質、強塩基類
湿気の吸収と汚染を避ける。
未開封の場合、推奨保管条件下では安定。開封した場合には直ちに使用する。

安全な容器包装材料

- : 情報なし

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度 - 許容濃度

| 化学名 | 許容濃度 | | 法令基準等 |
|---------------------------|------|---|--------------------|
| 総粉塵 | TLV | 0.025 mg/m ³ (粉塵) ばく露限界値は次の式により算出される。 $3.0 / (1.19 * (\% \text{フリーシリカ} + 1))$ 100%フリーシリカの値を用いる。 フリーシリカが低濃度の時、より高いばく露限界値を生じる。 | ISHL (2009年4月) |
| | TWA | 8mg/m ³ (総粉塵) 2mg/m ³ (吸入性粉塵) 4mg/m ³ (総粉塵) 1 mg/m ³ (吸入性粉塵) | 日本産業衛生学会 (2012年5月) |
| | TWA | 10 mg/m ³ (吸入性粒子) 3 mg/m ³ (呼吸性粒子) | US ACGIH (2013年3月) |
| ペルオキシニ硫酸カリウム (過硫酸塩として) | TWA | 0.1 mg/m ³ | US ACGIH (2011年) |

設備対策

- : 多量の粉末を取り扱う場合には、局所排気を行う。

生物学的限界値

- : 情報なし

保護具

呼吸器用保護具

- : 作業者がばく露限界値を上回る濃度にさらされる場合には、適切な認定を受けた呼吸用具有を着用する必要がある。適切な換気を実施する。

手の保護具

- : ゴム製手袋

眼の保護具

- : 密着性の高い安全ゴーグル

皮膚及び身体の保護具

- : 必要に応じて着用: エプロン, ブーツ
汚染された衣服は洗浄してから再使用すること。

9. 物理的及び化学的性質

外観(物理的状态、形状、色など)

物質の状態 : 固体

形状 : 粉末

色 : 桃色

臭い : 特有の臭い

臭いの閾値 : 情報なし

pH : 2.3 - 2.7

融点/凝固点

: 情報なし

沸点、初留点と沸騰範囲

: 情報なし

引火点 : 引火しない

自然発火温度 : 情報なし

蒸発速度 : 情報なし

爆発特性

爆発上限 : 情報なし

爆発下限 : 情報なし

蒸気圧 : 情報なし

蒸気密度 : 情報なし

比重 : 1.07

密度 : 情報なし

溶解性

水溶性 : 65 g/l (20 °C)

版 2.1

改訂日 2016/03/07

整理番号 130000031324

| | |
|----------------|----------|
| n-オクタノール／水分配係数 | : 情報なし |
| 分解温度 | : > 50°C |
| 粘度(粘性率) 動粘度 | : 情報なし |
| 分子量 | : 情報なし |

10. 安定性及び反応性

| | |
|------------|-----------------------------|
| 反応性 | : 一般的な使用条件下では危険な反応は知られていない。 |
| 安定性 | : 一般的な条件下では安定。 |
| 危険有害反応の可能性 | : 一般的な使用条件下では危険な反応は知られていない。 |
| 避けるべき条件 | : 湿気へのばく露。 |
| 混触危険物質 | : 強塩基類、可燃性物質、ハロゲン化物、重金属塩 |
| 危険有害な分解生成物 | : 酸素、塩素、酸化硫黄種、二酸化硫黄、次亜塩素酸 |

11. 有害性情報

| | |
|--------------------|---|
| 急性毒性 | : 環境除菌・洗浄剤ルビスタ®パウダー: 経口: LD50/ラット: 4,123 mg/kg 吸入: この物質または混合物は急性吸入毒性を引き起こさない。 経皮: LD50/ラット: >2,200 mg/kg |
| 皮膚腐食性 / 刺激性 | : 環境除菌・洗浄剤ルビスタ®パウダー: 結果: 皮膚への刺激 方法: OECD 試験ガイドライン 404 |
| 眼に対する重大な損傷性 / 眼刺激性 | : ペルオキシ硫酸・硫酸・五カリウム塩: 種:ウサギ 結果:腐食性 分類:強度の眼の火傷を引き起こす。 ベンゼンスルホン酸、C10-13-アルキル誘導体、ナトリウム塩: 種:ウサギ 結果:眼に対する不可逆的影響 分類:眼に重度の障害を与えるリスクがある。 方法: OECD 試験ガイドライン 405 リンゴ酸: 種:ウサギ |

結果:強度の眼への刺激
分類:眼に刺激

スルファミン酸:

種:ウサギ

結果:眼への刺激

分類:眼に刺激

方法:US EPA試験ガイドライン OPPTS 870.2400

トルエンスルホン酸ナトリウム:

種:ウサギ

結果:軽度の眼への刺激

分類:眼に刺激

ペルオキシ二硫酸カリウム:

種:ウサギ

結果:眼への刺激

分類:眼に刺激

方法:OECD試験ガイドライン 405

本情報は、類似する物質から得られたデータに基づく。

呼吸器感作性 / 皮膚感作性 : 環境除菌・洗浄剤ルビスタ®パウダー:

ビューラー試験

種: モルモット

結果: 動物実験では感作性なし。

分類:呼吸器感作を引き起こさない。

生殖細胞変異原性

: ペルオキシ硫酸・硫酸・五カリウム塩:

動物実験では突然変異の影響は見られなかった。

バクテリア培養細胞では、遺伝子の損傷は起きなかった。

哺乳類培養細胞を用いた変異原性試験で陽性。

この物質は動物の遺伝子を損傷しないことを示唆する証拠がある。

ベンゼンスルホン酸、C10-13-アルキル誘導体、ナトリウム塩:

動物実験では突然変異の影響は見られなかった。

バクテリア細胞では、遺伝子の損傷は起きなかった。

哺乳類培養細胞を用いた変異原性試験で陽性であることが、いくつかの実験室の

試験で見られたが、他では見られていない。

リンゴ酸:

動物実験では、突然変異の影響は見られなかった。

この物質は動物の遺伝子を損傷しないことを示唆する証拠がある。

スルファミン酸:

動物実験では、突然変異の影響は見られなかった。

バクテリア及び哺乳類の培養細胞の試験結果から見て、この物質が変異原性ではないことを示している。

トルエンスルホン酸ナトリウム:

動物実験では、突然変異の影響は見られなかった。

ペルオキシ二硫酸カリウム:

動物実験では、突然変異の影響は見られなかった。

バクテリア及び哺乳類の培養細胞の試験結果から見て、この物質が変異原性ではないことを示している。

本情報は、類似する物質から得られたデータに基づく。

発がん性

: リンゴ酸:

ヒト発がん性としては分類できない。

物理的特性から、副作用発現の可能性はない。

トルエンスルホン酸ナトリウム:

ヒト発がん性としては分類できない。

動物実験では、発がん性は認められなかった。

本情報は、類似する物質から得られたデータに基づく。

ペルオキシ二硫酸カリウム:

ヒト発がん性としては分類できない。

動物実験では、発がん性は認められなかった。

本情報は、類似する物質から得られたデータに基づく。

生殖毒性

: 環境除菌・洗剤ルビスタ®パウダー:

生殖毒性:生殖毒性はない。

特定標的臓器毒性

指定標的臓器毒性、
単回ばく露

: ペルオキシ二硫酸・硫酸・五カリウム塩:

この物質または混合物は、特定標的臓器毒、単回ばく露に分類されない。

ベンゼンスルホン酸、C10-13-アルキル誘導体、ナトリウム塩:

この物質または混合物は、特定標的臓器毒、単回ばく露に分類されない。

ペルオキシ二硫酸カリウム:

標的臓器:呼吸器官

この物質または混合物は、特定標的臓器毒、単回ばく露、気道刺激性のカテゴリ-3に分類される。

指定標的臓器毒性、
反復ばく露

: ベンゼンスルホン酸、C10-13-アルキル誘導体、ナトリウム塩:

可能性のあるばく露経路:飲み込んだ場合

この物質または混合物は、特定標的臓器毒、反復ばく露に分類されない。

リンゴ酸:

この物質または混合物は、特定標的臓器毒、反復ばく露に分類されない。

スルファミン酸:

この物質または混合物は、特定標的臓器毒、反復ばく露に分類されない。

トルエンスルホン酸ナトリウム:

この物質または混合物は、特定標的臓器毒、反復ばく露に分類されない。

ペルオキシ二硫酸カリウム:

この物質または混合物は、特定標的臓器毒、反復ばく露に分類されない。

吸引性呼吸器有害性

: ベンゼンスルホン酸、C10-13-アルキル誘導体、ナトリウム塩:
吸引性呼吸器有害性に分類されない。

リンゴ酸:

吸引性呼吸器有害性に分類されない。

スルファミン酸:

吸引性呼吸器有害性に分類されない。

トルエンズルホン酸ナトリウム:

吸引性呼吸器有害性に分類されない。

ペルオキシ二硫酸カリウム:

吸引性呼吸器有害性に分類されない。

その他

: ベンゼンスルホン酸、C10-13-アルキル誘導体、ナトリウム塩:
反復投与毒性:
飲み込んだ場合:ラット 28d
NOAEL:125mg/kg
LOAEL:250mg/kg
毒性学的に重大な影響は見られなかった。

リンゴ酸:

反復投与毒性:
経口-摂餌:ラット
毒性学的に重大な影響は見られなかった。

スルファミン酸:

反復投与毒性:
経口:ラット
NOAEL:131.5mg/kg
方法:OECD 試験ガイドライン 408
毒性学的に重大な影響は見られなかった。

トルエンズルホン酸ナトリウム:

反復投与毒性:
経口:ラット 91d
NOAEL:114mg/kg
方法:OECD 試験ガイドライン 408
毒性学的に重大な影響は見られなかった。本情報は、類似する物質から得られたデータに基づく。
経皮:マウス 91d
NOAEL:440mg/kg
方法:OECD 試験ガイドライン 411
毒性学的に重大な影響は見られなかった。本情報は、類似する物質から得られ

たデータに基づく。

ペルオキシニ硫酸カリウム:

反復投与毒性:

経口:ラット

NOAEL:131.5mg/kg

方法:OECD 試験ガイドライン 407

毒性学的に重大な影響は見られなかった。

12. 環境影響情報

生態毒性

- | | | |
|-----------------|---|---|
| 魚類に対する急性、延長毒性 | : | 環境除菌・洗浄剤ルビスタ®パウダー: LC50/96 h/Salmo Salar(タイヘイヨウサケ): 24.6mg/l |
| 水生植物毒性 | : | 環境除菌・洗浄剤ルビスタ®パウダー: EC50/72 h/Algae(藻類): 20 mg/l 無影響濃度/Algae(藻類):6.25mg/l |
| 水生無脊椎生物に対する急性毒性 | : | 環境除菌・洗浄剤ルビスタ®パウダー: EC50/48 h/ Daphnia magna (オオミジンコ): 6.5 mg/l |
| 魚類に対する慢性毒性 | : | ペルオキシニ硫酸・硫酸・五カリウム塩: 無影響濃度/37 d/Cyprinodon variegatus (シープスヘッドミノウ): 0.222 mg/l ベンゼンスルホン酸、C10-13-アルキル誘導体、ナトリウム塩:: 無影響濃度/28 d/ Lepomis macrochirus (ブルーギル サンフィッシュ): 1mg/l 方法:OECD 試験ガイドライン 204 |
| 水生無脊椎生物に対する慢性毒性 | : | ペルオキシニ硫酸・硫酸・五カリウム塩: 無影響濃度/28 d/ Americamysis bahia (甲殻類、ミシッドシュリンプ): 0.267 mg/l ベンゼンスルホン酸、C10-13-アルキル誘導体、ナトリウム塩:: 無影響濃度/21 d/ Daphnia magna (オオミジンコ): 1.18 mg/l 方法:OECD 試験ガイドライン 211 |
| 残留性/分解性 | : | 環境除菌・洗浄剤ルビスタ®パウダー: 生分解性があると予測される |
| 生体蓄積性 | : | リンゴ酸 水生生物への生物蓄積はほとんどない。 トルエン・スルホン酸ナトリウム: 生物蓄積性指標 (BCF): < 2.3 方法:OECD 試験 ガイドライン 305 |
| 土壤中の移動性 | : | 情報なし |
| 他の有害影響 | : | 情報なし |

13. 廃棄上の注意

- 廃棄の適用法令 : 廃棄物の処理及び清掃に関する法律(施行令第6条)に従って廃棄する。処理を委託する場合は、所轄の地方自治体の許可を得た一般(或いは、特別管理)産業廃棄物業者と契約を結んだ上、処理を委託する。
- 残余廃棄物 : 地方自治体の規制および「廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃掃法)」に従って、廃棄する。この製品が、排水や水路、地面に流れ込まないように留意する。
- 汚染容器・包装 : 空き容器を廃棄処理する場合は、内容物を完全に除去し、廃棄物の処理及び清掃に関する法律(施行令第6条)に従って廃棄する。再利用出来ない場合は、地方自治体の許可を得ている産業廃棄物処理業者に処理を委託する。

14. 輸送上の注意

- 国際規制 : 国際輸送に関する国連勧告の定義上は、危険物に該当しない。
- 国連分類 : 適用なし
- 国連番号 : 適用なし
- 国内規制 : 適用なし
- 追加の規制 : 適用なし
- 輸送の特定の安全対策及び条件 : 適用なし
- 応急措置指針番号 : 適用なし

15. 適用法令

- 労働安全衛生法 (安衛法) : 通知対象物質:ペルオキシ二硫酸カリウム(528)
- 化学物質排出把握管理促進法 (化管法) : 第1種指定化学物質:ベンゼンスルホン酸、C10-13-アルキル誘導体、ナトリウム塩(30), ペルオキシ二硫酸カリウム(395)
- 化学物質審査規制法 (化審法) : 優先評価化学物質: ベンゼンスルホン酸、C10-13-アルキル誘導体、ナトリウム塩(140)

16. その他の情報

- 参考文献 : 適用なし
- 記載内容の問い合わせ先 : 東京都千代田区神田司町二丁目2番11号 新倉ビル6F
電話番号: 03-6327-5977
- 改訂日/版 :
- 作成日 : 2013/11/29
- 改定日 : 2016/03/07
- 版 : 2.1

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等を、安全に行っていただくために作成されたものです。上記の情報はいかなる保証をするものでもありませんし、品質を特定するものでもありません。また、このSDSのデータはここで指定された物質についてのみのものであり、別な物質へ変化させたり、処理したり、あるいは指定されていない工程での使用や、指定されていない材料との組み合わせには有効ではありません。